



日本アマチュア無線連盟



7月5日~6日に行われた
オール茨城コンテスト第二部/アイボール会

お 知 ら せ

事務局 JH1WGP 大木 武

★ 第 35 回オール茨城コンテスト第二部／アイボールが開催されました

(第 44 回 6m AND DOWN コンテスト併設)

第 35 回オール茨城コンテストが 7 月 5 日 (土) 21:00 ~ 6 (日) 15:00 間で開催され当クラブは例年の通り竜ヶ峰山荘に集合しアイボール会後コンテストに参加しました。午後 3 時には山荘に集合し草刈、木の伐採や食事の準備など精を出して頂いた役員各局、ご苦労様でした。アイボールはメニュー盛り沢山の料理や飲み物で大盛況でした。コンテストは 8 名の方が泊まりながらコンテスト終了時間まで頑張りました。又、自宅参加の各局もお疲れさまでした。

★ 7 月 26 日 (土) ~ 27 日 (日) 茨城・栃木合同ミーティングが開催されました

(ホスト：茨城支部 大子アマチュア無線クラブ)

詳細は来月号予定です

★ 8 月の行事は次の通りです

1. 8 月 2 日~3 日 フィールドデーコンテスト／アイボールが開催されます

日時：8 月 2 日 午後 5 時 (役員集合時間：午後 3 時)

場所：竜ヶ峰山荘

コンテスト時間 8 月 2 日 (土) 21:00~8 月 3 日 (日) 15:00

真夏の夕涼みのビールやカキ氷美味しいですよ！

2. 8 月 23 日~24 日 ハムフェア 2014 が開催されます

東京ビックサイト西ホールで開催されます。自由参加となりますが参加する方は、**JARL NEWS 夏号の割引券** (¥1,500 が ¥1,200) をお忘れなく・・・

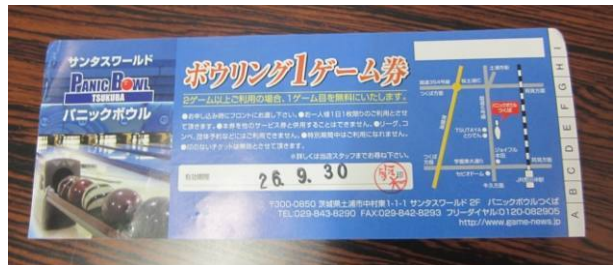
* 昨年東京駅から都営バスを利用したら (運賃 210 円) 所要時間も約 25,6 分と思った以上にスムーズでした。

★ 9 月 6 日 ナイトボウリング大会を開催します

日時：9 月 6 日 (土) 集合 午後 6 時 30 分 スタート 午後 7 時 予定

場所：パニックボウルつくば (土浦市中村東 1-1-1 TEL029-843-8290)

従来の場所とは違いますので間違いないようにお願いします。



ショクダイオオコンニャク

JE1RLK 田中 文之

6月21日読売新聞の茨城版に、「世界最大、来月開花」という記事が掲載されていました。7月1日～4日頃に見頃との事で、そろそろかなと思い、3日の日に女房と一緒に出かけました。



場所はつくば市の国立科学博物館、筑波実験植物園です。私はこの植物園へ行くのは初めてで、とても広いのに驚きました。1時間ぐらいで、園内を回れると思いましたが、とんでもない、一部の温室のみしか時間の都合上見られませんでした。

このコンニャクのはらな地はスマトラ島で、サトイモ科の絶滅危惧種で数年に1度しか開花しないとの事です。花の開花は国内10例目で、同園では2例目だそうです。

問題のオオコンニャクは、残念ながら開花していませんでした。観察用の4台のカメラが、別々の方向から、つぼみに向けられています。この時の花の背丈が、2m64cmと表示してありました。花としては綺麗ではないし、珍しいと云う事ですね。

周りにへばりついている花びらが少し開くのかなと、想像しながら家へ帰りました。

次の朝の新聞によると、3日午後5時45分に開花したとの事。

よし、もう一度見に行こうと4日の午後1時頃に見に行きました。

新聞、テレビで、今朝報道されたため、昨日に比べ大賑わいでした。高さ2m75cmでちょいの間に11センチも伸びたことになります。すごいですね、又、花は肉の腐ったような、強烈な臭いがしました。



この植物園の入園料は一般310円、団体210円、65歳以上18歳未満の方は、無料です。

今回は、一部の場所しか見てきませんでしたので、日を改め、ゆっくり見に行こうと思っています。皆さんも散歩がてら、御夫婦で見に行かれてはと思います。

オール茨城コンテスト第2部 & アイボール会

JF1MFE 久松 満男

7月5日(土)、6日(日)オールいばらきコンテスト第2部 & アイボール会が開催されました。

5日(土)には、役員が集りが3時の計画でしたが、1時半頃よりをクラブ員各局が集まりだし、恒例の夏の手入れの草刈りや清掃作業を実施して頂きました。

エンジン草刈機や芝刈り機で頑張る方、熊手を持って集める方等全員で清掃作業を行いました。特に、大掛かりな作業としては、7M4OZD 高橋さんがクレーン車を持ち込み、チェーンソーで巨木の枝払ったことと JG1WMN 葛綿さんと 7M4OZD 局が水源の修復作業のため大荒れの山中での作業を行ったことでしょうか。清掃作業に参加された各局、大変お疲れ様でした。



やると上手いんだよと言いながら、一生懸命頑張ってくれました。JA1PBV局は、青森の六根なるお酒を持ち込み、これっは美味いんだと、コンテスト開始まで時間一杯騒いでいました。

夕刻には、庭にて恒例のアイボール会の準備が始まりました、また、コンテストの準備もでき、そのうち各局も集まり、JF1KZD局や JN1VVE 局の料理で舌鼓、JE1RLK局は毎度バーベキュウの係、また焼きそばはこう





9 時にはコンテスト組はコンテストに発砲、JA1IOA（久しぶりに山荘から参加）、JH1WGP、JA1CCN、JE1RLK、JJ1ATZ、JO1LEA、JF1KZD が CQ コンテストと頑張り、6 日（日）午後 3 時まで頑張ってくれました。

各局がそれぞれ頑張ってくれば上位に入賞、またクラブも上位に入賞？思うようにいきません上位を目指して頑張っています。ご協力を。結果はどうか！！

また、6 日（日）には、今度とは JF1PEL 山越さんがクレーン車で乗り込み、JG1WMN 葛綿さんがクレーンバケットを最高に伸ばして高いところから徐々に邪魔な木の枝をカットし、坊主状態にしました。

切り落とされた枝葉の後始末も結構大変な作業でしたが、お陰で綺麗になりました。



参加各局（17 局+2 犬）

7M4OZD、JA1CCN、JA1IOA、JA1JKQ、JA1PBV、JE1RLK、JF1KZD、JF1MFE、JF1PEL、JG1JLU、JG1NUV、JG1WMN、JH1WGP、JJ1ATZ、JL1SUJ、JN1VVE、JO1LEA

なお、両日の模様を動画にしてあります。次のアドレスから、7 月 5 日をクリックしてご覧ください。 <http://it0110.com/flash/>

なお、自作の動画もご覧いただけます。ご批判、大歓迎(JA1PBV 伊藤)



開局 50 年を迎えて

JA1OVF 山崎建志

当局は今年 2 月 11 日、開局 50 年を迎えました。よくぞ半世紀も続いたものと我ながら感心します。今日に至るまでを少々振り返ってみます。



1. 受験と開局

昭和 38 年の 4 月期に電話級を受験し、何とか合格出来ました。SWL (JA1-4469) をやりながら無線のことを慣れるよう努める一方、自作するにも部品類は何も無かったので、高校 2 年生の夏休みに自衛隊の補給処でアルバイトしてお金を貯めて、テスターと送信機の主要な部品を買い、当時人気だったトリオの TX-88A (3 ステージで終段は 807 シングル) を参考にしてコイルキット KX-1 を用いた 3.5~28 メガの TX を組み立てました。変調器は 6V6PP のプレートスクリーン同時変調で、受信機は友人の JA1HVJ (村田君) から高 1 中 3 を譲り受け、アンテナは 7 メガ 1/2 波長ダブルットでした。

免許日は高校 2 年生の 3 学期の昭和 39 年 2 月 11 日 (後に建国記念の日) で 3.5~50 メガ、A3、10W でした。

2. 運用

7 メガは人気のバンドで誰もが初めは運用するので今ほどではありませんでしたが、それなりに QRM でした。また、発振は XTAL のみだったので自由な運用ではありませんでしたが、何とか局数を伸ばしました。

その頃ローカルでは、JA1VN (故人)、JA1ITJ (50 メガ)、JA1JTR、JA1JZS (故人)、JA1LIS、JA1NIR、JA1PBV (主に 50 メガ)、JA1PBT (50 メガ)、JA1PMS、JA1QDQ (故人)、JA1RPI 局等がよく出ていました。

しかし、北海道や九州は遠く中々出来なくて当時のログには尻切れが沢山あります。それでも何とか ADJ や WAJA、JA8-88 局賞などゲットしました。

自宅とクラブ局 (JA1YDB) で朝から晩まで無線ばかりやったので成績はガタ落ちし、大学受験はかなり怪しくなり、当然希望の国立大学は落ちました。浪人する訳にもゆかなかったので……。今にして思えば「大反省」ものですが当然と言うべきでしょう。

3. DX 通信

(1) 初めの頃

なんだかんだ言っているうちに、仲間は 21 メガで海外通信したとかで自慢されるようになり、10W で 3.5 や 7 メガではかなり苦しいので 21 メガに出るようにしました。しかし、10W の A3 では KR8、HL や UA0 へは飛んでもそれ以上は大変でした。

また、TV 送信機だったこと、言語障害だったので運用は控えめでした。Hi

曲がりなりにも大学生になったので、電信級、2 級を取り、CW では、A3 に比べると 10W でもよく飛び、W の西海岸、XW、VS5、また EU 各局などと出来「うきうき」していました。

(2) DX の味が分かりだした頃

昭和 44 年 4 月晴れて社会人になりました。数年間寮生活などで HF はやれなくな

りましたが、50メガ1Wのトランシーバーは東京でも使いました。結婚を機に再び自宅に戻ることになったので、今は故人のJA1GIZ 関川さんの協力で自宅にパンザーマストを建て、100W増力とアンテナも14、21、28トライバンド八木にグレードアップしたところ、コンディションのせいもあったと思いますがバンバンDXができるようになり、流石に100Wとビームアンテナは凄いなーと思うようになりました。器械



は中古のコリンズのKWM-2A（日本コリンズ）でした。勿論電監検査合格局です。

ここで、JA1VNに刺激されDXCCなるものを始めました。1984（S59）年8月コンピュータなど無い時代に米ドル同封でARRLへ手書きで申請し、MIX191、CW181がOKになりました。

ローカルではJA1VN、JA1IOA、JA1JRK、JA1JTR、JA1NIR、JA1PBV、JI1WLL・・・など蒼々たる面々がDX界で活躍しており、遅まきながら仲間入りしました。

(3) DXの虜になった頃

サイクル23は終わり24が始まるにはやや間がある頃、5バンドDXCCをやるにはどうしても3.5メガに出なければならなくなりました。7メガはダイポールでも何とか100エンティティは出来ました、3.5は中々簡単ではなく、最初はトラップ入りの自作バーチカルでQRVしていましたが40エンティティくらいで直ぐ頭打ちになりました。そのうち当局もサンデー毎日超々大型連休の日々を迎えることになり、愈々ハムライフも集大成期を迎え、退職金でクランクアップタワーを購入してクリエートのCD78Jrを上げました。トラップ入りで超短縮のダイポールのため帯域が無く、そのため3.5~3.8をカバーするため給電部で5チャンネルもコイルを切り替えるものでした。クランクアップタワーを20mh以上に上げると卵か繭形のビームが出るらしく2年少々かかって3.5メガで100エンティティをCFMできました。

また、念願だった5バンド2エレCQアンテナを上げたところ、コンディションが良くなったこともあり格段の飛びで充実したDXができるようになりました。これに気を良くして5バンドDXCCをゲットし、WARC3バンドを加え8バンドでDXCCが出来ました。更には2000年から始まったチャレンジDXCCは1,000に達したことから2011年8月楯を受領しました。

私は1アマの免許は取得していますが200Wを超える申請はしていませんので、これら全ての交信は200W以下のペアフトで完成しました。一人天狗。



4. 当局のこれからのこと

(1) DXCC

1989年ARRLはDXCCの処理をコンピュータ化

しました。手で処理していたころは3か月以上かかりましたが今ではすっかり早くなりました。また、ハムフェア会場やJARLでカードのチェックを受けられるようになり、米国へカードを送らなくてもよくなりました。また、申請料も日本円でもOKとなり随分楽になり、更にはLoTWなる電子的な申請方法も出現しています。

現在、DXCCは全部で340エンティティです。当局のDXCCは、MIX338、CW331、PHONE236エンティティがARRLで認められています。目下、MIX339を申請中で近々8月か9月にはOKが出そうです。

(2) WAC

WACは3.5~28までの8バンドで完成していますが、今サイクルで50メガが完成出来ないものと挑戦中です。今年になってからアフリカ、北米とQSO出来ましたが残るは南米です。J11WLL局の援護を受けながら南米を狙うこの頃です。

また、1.9メガはAS、OCしかやっていないのでこのサイクルが終わったら、50メガとHFのハイバンドアンテナを撤去して1.9メガのアンテナを上げようと考えています。

当クラブのJA1IOA矢口さんやJA1JRK矢田部さんには遙かに及びませんが何とか近づき、また、全エンティティができるように油断なく頑張りたいものです。

(3) CHALLENGE

未だ1,000のメダルしか手にしていません。既に2,000をCFMしていますのでこれから少しずつ整理して1,500、2,000をゲットしたいものと思っています。

(4) これからのこと

近年IT技術の進歩で情報が素早く把握出来るようになりました。かつてのように器械の前でDXが出ないかと嘯り付いていなくても良くなりました。そこで、時間の有効活用として開局時の807か何かの真空管でローパワーのCWの送信機を手作りし、レトロなQRP通信を楽しんでみたいものです。

(5) さらには

また、私のローソクも大分短くなってきました。あまり好きな言葉ではありませんが、「終活」に入らなくてはなりません。今まで溜め込んだ部品やジャンクは何時かの段階で処分しなければならなくなりました。どれもこれも「思い出」が鮮明なものばかりです。「思い出は歳をとらない」そうですが、何処かで断ち切らなければなりません。

当面、古い器械はレストアしてハムフェアなどで売却したりして、徐々に減らして行かなければ、ただの産業廃棄物の山です。入手時のことを思えば本当に忍び難いことですが、せめて欲しい人にQSYし愛用していただけるなら望外の喜びとするところです。

5. 最後に

土浦クラブ員の昭和 39 年開局組は、JA1PBV 伊藤さん、JA1PMS 鳥羽さんと私です。ご承知の通りお二方は大変個性的で伊藤さんは世界的なDXペディショナーであり、鳥羽さんは写真芸術界の重鎮です。これからもアマチュア無線を通じた一層のご厚誼を重ね他のクラブ員同様、更なる友情を育んで行きたいものです。

そして、キングオブホビーと言われるアマチュア無線界も、日本のみならず世界中高齢化が進み、かつての様な若々しい熱気などは薄れてきました。更には自分自身の「ローソク」も短くなってきました。しかし、今、50 年を振り返ってみるとき、自分が使う器械を自作しアンテナを張り、少しでも良い器械やアンテナにしようと工夫したり、未知なるものに「あーでもない、こーでもない」と口角泡を飛ばした一番いい時代を生きてきたように思います。

高校 1 年生の時、担任の飯野先生から「本は読め」、「終生続けられる趣味を持って」と言われました。また、社会人になってから先輩に「辛いとき一番好きなことを思え」とも言われ、以来ずっと頭を離れません。今日まで多くの方に接した中でアマチュア無線から得たことは計り知れないものがあり、本当に良い趣味だと思います。

これからは、健康に留意し、ひょうひょうとした「ラジオ爺ちゃん」を標榜し、「遊々自宅」を楽しみたいと思っています。TU & VY BEST 73 KEN

クラブ内DXニュース

J11WLL 小澤 靖

7 月初めに 50MHz で北米が大オープンしました 伊藤さん、山崎さんと私で多数の W 局をゲットしました。その後、太陽黒点が急激に消滅してしまいました。秋のコンディションが心配です。

さて、JA1IOA 矢口さんが、チャレンジ 2000 を取得しました。最後の詰めは、約 60 枚の QSL カードを、直接 DXCC フロントへ送ったので承認されるまで約 7 週間も待たされてしまいましたが 7 月 17 日に発表があり、見事 2000 を取得しました。

取得ランクは JA1IOA 2009、 JA1OVF 1216、J11WLL 1119 になりました。

このアワードは DXCC のエンティティ 340 を 1.9MHz から 50MHz の 10 バンドを使用して 3400+ 消滅エンティティを集めるアワードです。トップオーナーになってやる気を失った方などにチャレンジしてもらおうアワードの一つです。

1000 程度はそんなに難しくありませんが 1500 からは、大変なアワードです。

この申請に LoTW が生まれたと言ってもよいほどです。なにせ 1000 枚も 2000 枚も W や JARL で証明してもらうのは大変な作業とお金が掛かってしまいます。

私の場合、過去に 824 局登録分が有りましたので残りを LoTW で埋めました。JA1OVF 山崎さんも 1500、2000 を LoTW で埋めると言っていますが、パソコン操作が苦手で二の足を踏んでいるようです。

バンドコンディションは完全に夏枯れで、国内を相手にするか深夜ヨーロッパを狙うかですが 小さなペディションも無く、JA1PBV 伊藤さんの海外運用待ちしか無いようです。

会報について、少し振り返る

JA1PBV 伊藤 寧夫

会報の発行に関わるようになり、4 年になろうとしています。良くも続けているなど我ながら感心していますが、継続は力なり、私の言語集の中の一つでもあります。時に感謝！

ゼロ戦その9

JH1WGP 大木 武

昭和17年6月5日空母「赤城」「加賀」「蒼龍」「飛龍」の4隻から合計108機の第一次攻撃隊がミッドウエー島(KH4)攻撃に飛び立った。残った飛行機には来るはずがないと信じ込んでいたアメリカ空母に備えて魚雷を抱いて待機はしていたが。実は、これ



空母 赤城

より一日前の6月4日アリューシャン列島攻略作戦が決行された。アリューシャン列島のウナラスカ島にあるアメリカ軍基地ダッチハーバーを攻撃したのである。この基地を叩けばアメリカ空母は北に向かうはず、その間にミッドウエー攻略を有利に進める事が出来る作戦であった。しかし先にも書いたように暗号解読されアメリカ空母はミッドウエー島周辺で日本軍を待ち構えて逆に奇襲をかけてきたのである。

このダッチハーバーを攻撃した時ゼロ戦が湿地帯に不時着を余儀なくされ車輪がのめり込んで仰向けになった。そして搭乗員が即死した。この状態を同僚が気遣ったのか、確認出来なかったのか、結局破壊しなかった。結果論ではあるがこれが重大なこととなってしまったのだ。約一カ月後ほぼ無傷のこのゼロ戦がアメリカに発見され徹底的に研究されてしまった。星のマークを付けたゼロ戦が飛んでいる記録写真や映画は見たことがあります。これによりゼロ戦対策が次々と打ち出された。一対一の格闘戦はするとか2機がセットになって戦いなど。ただ技術的な一つが解明されないのがあったようだ。それは操縦性の良さである。なぜ操縦性がいいのか？

従来は操縦桿の動きと舵の動きは同じ割合だったので低速と同じ感覚で操作すると高速では利きすぎてしまう。これでは高速になったゼロ戦では操縦がスムーズにいかない。設計者の堀越二郎氏が苦心の末、実に簡単なメカニズムでこれを解決した。以後ゼロ戦の特に空戦性能が高まった。自分の手足のように意のままに動いてくれたという。操縦桿と舵の間のケーブルに弾性を持たせたただけなのだ。



靖国神社 遊就館保管のゼロ戦

高速になると舵の面に空気の力が増加する→ケーブルが伸びる→操縦桿を大きくしても舵は小さくしか動かない。低速はこの反対の現象が起きる。ざっとこんな内容と思いますが、日本の技術はすばらしい、昔も今もこれからも技術立国で有りたい。 つづく

暑中お見舞い 申し上げます

JN1VVE 高野 初江

大腸（S状結腸）ガンで入院、手術を受けてから1年になります。

お陰様で今のところ大きな心配はありません。

私の場合、異常がある部分を取ってしまえばおしまいでしたのでその話をすると喜んでくれる人がいる反面、驚くような反応をする人も…。

「あんた、自慢してるよね!？」 これには閉口してしまいました。

(山百合でも鑑賞して慰めます!!)

4月に、竜ヶ峯山荘にお迎えした JQ1LCW は、看護師（助産師）だったと自己紹介してくれました。その方の助言は、今回の私の経験も必ず人に役に立つからどんどん話すと良いと言ってくれましたので、気持ちよく自慢話をしております(*^。^*)



病気の話など、喜んで受け入れる人はいませんが、そこを何とか聞いてください。

ウンチが細くなるのは歳のせいじゃありません!

赤かったら、ちょっと心配。(地主かも…? 本人は判るものです。)

どす黒かったら、なお危険です(— —)!!

初めての病気で入院して感じたのは、ここ10年の医療の進歩は目覚ましいものがあるということです。

以前は、ガンの本人への告知をしないのが普通でしたし、発見が遅く手術もできないまま、身近な方が次々と亡くなるのを見てきました。今では治る可能性が高くなったこともあり、99パーセント告知します。つまり敵を見極め克服するという目標を持つのも大切ですよね!?

病気にもいろいろあり、ガンに関しては原因というか、データも説得力も足りないと思っ
ていますが、少なくとも私は自分がどうして罹ったかは理解しているつもりです。

災難は忘れた頃に…かもしれませぬ(^_^)

幸いにも結果が良く、時々経過確認の検査はありますが、常磐高速で気分転換にドライブモードで出かけております。

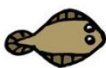


それから、昨年義母から着物を1枚もらい

何か月もかけてクリーニングして、

今年の春に着てみました(^^ゞ

どう? 似合うでしょ!



5 Bands DXCC

J11WLL 小澤 靖

やっと Award が届きました。
世界で 7947 番目ですかね？

これで押しも、押されぬ DX
サーの仲間入りが、出来ました。
かな？・・・

でも リストに反映されない
ので 3.5MHz だけのアワード
を申請しました。

当然 LoTW です 初期認定
ポイントに 36.48 ドル取られました。

DXCC は、金儲けの組織だ。
年金生活者には辛い！！



皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

平成 26 年度 第 5 号	通巻 465 号	JARL 登録番号 14-1-0018
発行日：平成 26 年 8 月 1 日	発行者：土浦アマチュア無線クラブ 事務局	
オンエア ミーティング：毎週月曜日	PM9：00～ JR1VG レピータ (439.70MHz)	